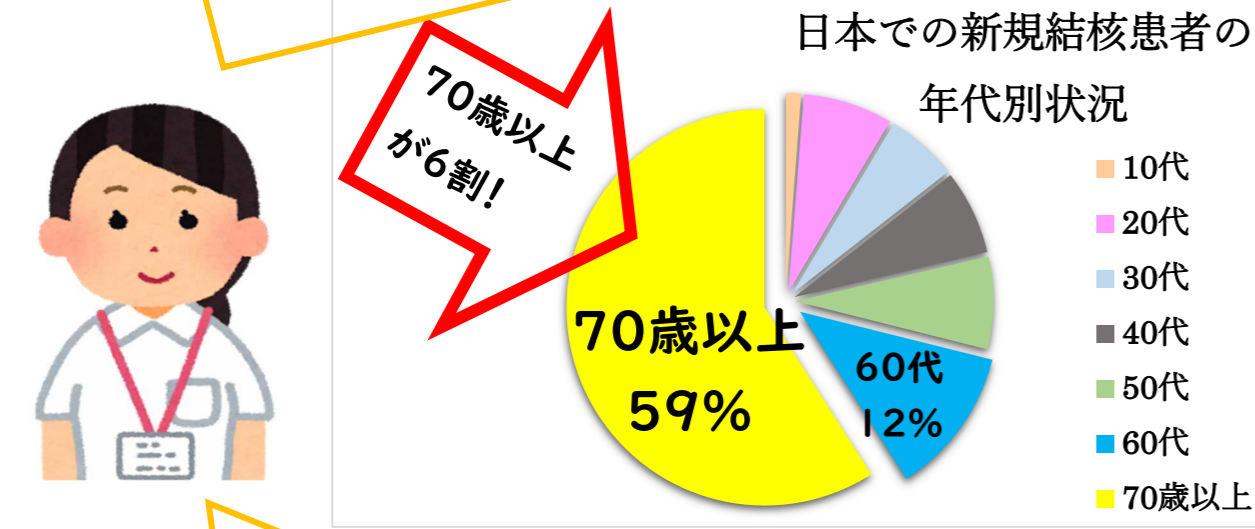


高齢者の皆様へ

～結核は現代の病気！知って予防、早めの受診を～

日本では高齢者が多い

国内で新たに結核を発症する人は、全体では年々減少していますが、**高齢者や若年層(20歳以上)**は増加しています。



結核は今でも日本の重大な感染症

結核とは、**結核菌によって起こる感染症**です。
結核は「過去の病気」だと思いませんか？現在も毎年約 16,000 人が感染し、約 2,000 人が結核が原因で亡くなっています。

結核はどうして高齢者が多いの？

日本では戦前から結核がまん延しており、その時結核に感染し、その後高齢になり免疫力等が低下したことにより結核を発症することが多いです。

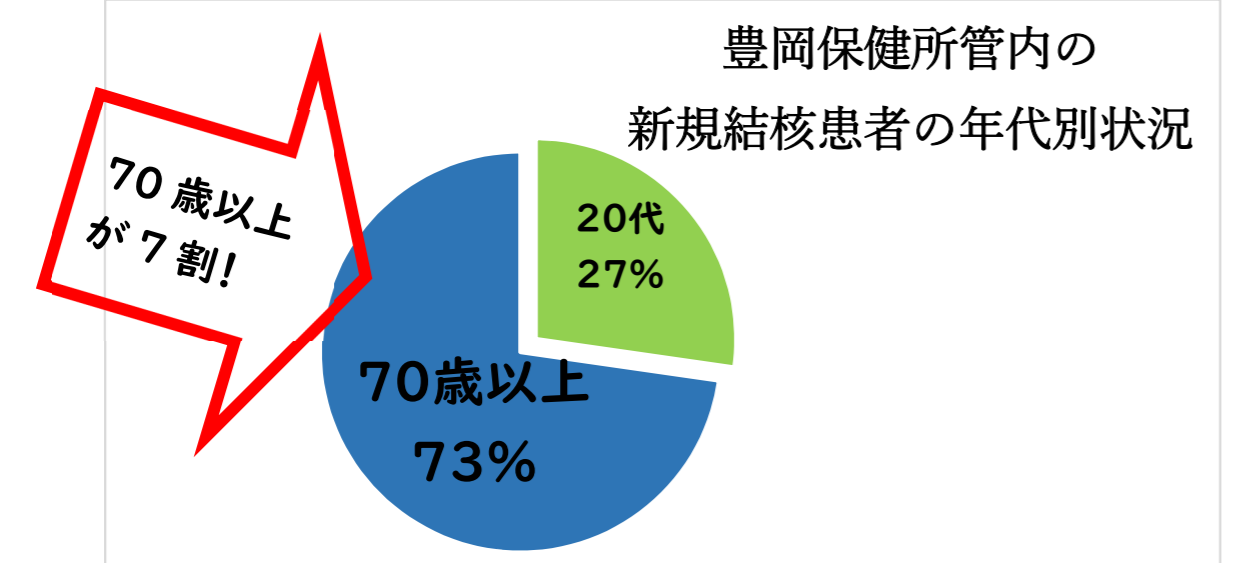
長引く風邪症状には注意！



風邪のような症状が **2週間以上** 続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。
また、高齢者の場合はこのような症状が出にくいことがあります。
「**食欲不振**」や「**体重減少**」などの体調の変化に気をつけましょう。

豊岡保健所管内では

平成 30 年に豊岡管内で新たに結核を発症した人は 11 人でした。そのうち、**70歳以上の高齢者が約 7割**を占めています。



年に1回は健診を受けましょう

結核は、身体の抵抗力や体力が低下した時に発病することがあります。そのため、「適度な運動」「十分な睡眠」「バランスの良い食事」などの健康的な生活が予防につながります。
症状がなくても、市町で行っている結核検診や、かかりつけ医で1年に1回は胸部レントゲン検査を受けましょう。

結核は治る病気。早期発見が大切です。

結核は、薬をきちんと服用することで**治る病気**です。
早い段階で見つければ入院せず、通院で治療することが出来ます。痰などに結核菌が見つかった時は、専用の医療機関で入院が必要です。